

会 議 録

会議の名称	浦幌町総合振興計画審議会 総務・教育専門部会（第2回）	
事務局 (担当部署)	まちづくり政策課企画振興係	
開催日時	令和3年10月1日（金） 19時00分～20時50分	
開催場所	浦幌町役場2階 中会議室	
出席者	○委員 伊場満広、三村直輝、香川祐輔、熊谷晃明、西田美代子、藤本晋、 廣瀬弘、元木一彦、山岸嘉平 ○事務局 岡崎課長、田村課長補佐、竹田主事、佐藤主事	
欠席者	○委員 堀川恵子	
	会 議 次 第	会議結果
議案 1 開会 2 部会長あいさつ 3 議事 (1) 浦幌町第3期まちづくり計画の実績について 4 その他		承認
	審 議 の 概 要	
	別紙のとおり	
会議録の公開期日	令和5年3月31日	

審議の概要

1. 開会

事務局～ 皆さんこんばんは。夜分お疲れのところお集まりいただきましてありがとうございます。このような形での専門部会は初めてとなりますが、専門部会は基本事業所管課の職員は出席せず、事務局であるまちづくり政策課の職員からご説明させていただきます。

あまり固くない雰囲気の中で、皆さんからいろいろなご意見を出していただけたらと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、只今から浦幌町総合振興計画審議会総務・教育専門部会を開催いたします。まず初めに、伊場部会長よりご挨拶をいただきます。

2. 部会長あいさつ

伊場部会長～ 皆さんこんばんは。雨の降る中、ご参加いただきありがとうございます。このような会議に関わらせていただいて何年か経ちますが、部会長という役割は初めてなので、不慣れなことがたくさんあると思いますが、皆さんのご意見を聞けるような体制で今後のまちづくりに活かしていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

事務局～ ありがとうございます。これより先につきましては、伊場部会長の進行により進めていただきます。よろしく願いいたします。

3. 議事

(1) 浦幌町第3期まちづくり計画の実績について

伊場部会長～ それでは議事(1)について、事務局より説明をお願いいたします。

～ 事務局から資料に基づき第3章について説明 ～

伊場部会長～ 第3章につきまして、ご質問、ご意見がありましたらお願いします。

委員～ 6ページの「2. 主要施策の取組状況(自己評価) 3 心の問題への対応」について、施策別評価が達成度○でA評価となっているが、「1. 施策概況⑥ 施策の成果指標」の「1及び2 児童・生徒の長期欠席者数」が目標値0のところ、実績値が小学校1・中学校2となっている。心に問題があったから不登校なのかわからないが、本来であれば長期欠席者数が0のときに、心の問題への対応が「よくできた」という評価になるのではないかと。評価の基準が少し気になります。

事務局～ 担当課からの評価は、事業として概ね計画通り実施できたからこのような評価になったのではと読み取れます。

委員～ 成果指標の達成度で見たら×となっているが、施策別評価では達成度○となっており、同じような項目で矛盾が生じている。社会を見渡した時に、教

育現場で子どもたちが苦しんでいる事件が多くあり、教員を含め行政サイドでの対応の遅れなどがメディアで報道されている。このような項目はもう少し厳しく評価したほうが良いのでは。

事務局～ 施策の成果指標は定量評価、施策別評価は感覚的な評価となっているが、ご指摘いただいた差異については確かに理解できる。部会において指摘があったことも含めて再度原課に確認させていただき、全体会議等で報告させていただきます。

伊場部会長～ ほかにありませんか。

委員～ 7ページの「3. 施策を構成する実施計画の状況」のどの事業に該当するかはわからないが、コロナ禍による小中学校のリモート授業のシステムが構築されたということによろしいのでしょうか。

事務局～ システム構築が完了しているかは不明確ですが、資機材を準備して環境づくりはしております。

委員～ リモート授業は実施されているのでしょうか。

事務局～ 授業の実施状況までは事務局で把握できておりません。申し訳ありません。

委員～ 中学校はワクチン接種による発熱などで出席できない生徒など、学校で配布されているタブレットは自宅に持ち帰ってはいけないので自宅のパソコンなどでリモート授業を受けたりしています。

事務局～ リモート授業のシステム構築や体制などについて教育委員会に確認させていただきます。

伊場部会長～ ほかに質問等はございませんか。

委員～ 根本的な質問となるが、成果指標の達成度について、新型コロナウイルスによる未実施の事業については評価の点数平均にカウントされるのか。

事務局～ 平均にはカウントされません。

委員～ そうなると11ページの成果指標の評価はCではなくBになるのではないかと。

事務局～ CではなくBとなります。修正させていただきます。

伊場部会長～ ほかにございますか。

委員～ 先ほどの質問に関連するのですが、長期欠席者の「長期」とはどれくらいですか。

事務局～ 本来長期となるのは7日以上となるが、今回の成果指標での「長期」は不登校に該当するものとなっております。

委員～ そのような方たちへの支援などはされているのですか。

事務局～ 中学校では心の相談室などを設置していると聞いているが、小学校の状況は把握できていません。先ほどの質問とあわせて確認させていただきます。

伊場部会長～ ほかにご質問はございますか。無いようですので次の説明をお願いします。

～ 事務局から資料に基づき第5章第5・6・7節及び第6章について説明 ～

伊場部会長～ ここまでご質問等はございますか。

委員～ 13ページ成果指標「自主防災組織」について、平成30年から令和元年で10

件増、令和元年から令和2年で7件増となっているが、自主防災組織とはどのようなものか。またこのように増えたのはなぜですか。

事務局～ 自主防災組織を増やすため各行政区に防災委員の設置を依頼し、防災委員のいる行政区については自主防災組織としてカウントすることとしました。

自主防災組織として防災備蓄品や防災訓練に係る経費については、町の補助金も活用いただけます。

委員～ 防災委員になるには講習などの受講は必要なのか。

事務局～ 行政区の役員として選出していただいているので、特段講習の受講などの必要はございません。町と行政区の連絡調整係のような位置づけなので、行政区によっては区長さんなどが併任したりしているところもございます。

委員～ 今後ハザードマップを更新されるとのことだが、その内容などを防災委員に伝えて防災委員が行政区に周知したりするのですか。

事務局～ 現段階では防災委員が率先して何かをやったり、防災委員が地域の防災を背負ったりということではなく、あくまで町と行政区の連絡係として行政区の役員として設置していただいています。

伊場部会長～ ほかにございますか。

事務局～ 13ページの施策別評価の全体評価について、Aとなっておりますが、Bの誤りでございました。修正をお願いいたします。

伊場部会長～ ほかにございますか。

委員～ 15ページの主要施策「町民への情報発信の強化」について、広報誌をじっくり読む人がだんだん減ってきていると思う。自分は救命講習などに興味があったがこのような事業があったのを知らなかった。広報誌には掲載されていたのかもしれないが、広報誌を読む時間がなかったりするので、自分が欲しい情報を端的に収集できる方法があるとありがたい。

町ホームページや広報誌が充実しているのはわかるが、そこに入り込むためのファーストステップの強化が必要なのでは。情報を知るすべが紙媒体の広報誌なのは少しアナログなのは。

事務局～ そのような現状があり、情報発信の媒体をメールマガジンだけではなくLINEも増やしました。

委員～ せっかく町の公式LINEがあるのであれば、友達登録をしたくなる仕掛けなどが必要だし、もっと周知が必要だと思う。

委員～ 今現在の友達登録者数はどのくらいですか。

事務局～ 町内・町外の区別はわからないが476人です。

委員～ 町内のイベント情報なども発信していただけるのか。

事務局～ 発信内容などを規定しているので、それに違反しなければ可能です。

委員～ ほしい情報の区分を設定することはできるのですか。いらぬ情報ばかり流れてくるとミュートやブロックされてしまうのでは。

事務局～ メールマガジンの場合はその設定が出来たが、LINEではできない状況となっております。今後の課題となっている。

伊場部会長～ ほかにございませんか。

委 員～ 22ページ「ふるさとづくり寄付奨励事業」について、記念品贈呈費等とはどのようなものか。

事 務 局～ ふるさと納税の寄附者への返礼品や配送料などの事業費となります。

伊場部会長～ ほかにございませんか。無いようですので次の説明をお願いします。

～ 事務局から資料に基づき重点プロジェクト及び
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について説明 ～

伊場部会長～ ご意見、ご質問はございませんか。全体を通していかがでしょうか。

委 員～ 24ページの主要施策「土曜日の保育環境の整備」について、どのような状況からどのような状況になることを検討されたのか。

事 務 局～ 原課からは様々ニーズに対応できるように検討すると伺っているが、細かい内容等については全体会議までに確認させていただきます。

委 員～ 自分は町の公式LINEを登録しており、光ケーブルの断線などの情報はとてもありがたかった。事務局も理解していると思うが、自分に関係ない町政情報が多く来るのをどうにか対応していただきたい。

事 務 局～ イベントや発信情報が多いとどうしてもそうなってしまうのが現状である。どうにか改善できないか検討したい。

委 員～ 地域おこし協力隊について、何人かいると思うが、それぞれがどのような仕事をしているのか教えていただきたい。

事 務 局～ 総勢11名の協力隊がおり、大まかに4種類の業務があります。うらほろスタイル関連の隊員が3名、常室ラボ関連の隊員が2名、林業担い手の隊員が2名、地方創生関連の隊員が4名となっています。協力隊員の任期は3年で今年度任期満了の隊員は2名おり、任期後は町内で起業予定となっています。

委 員～ 協力隊員がいっぱいいるのは知っているが、どのようなことをやっているのかわからないこともある。先ほどの質問でも出たように情報発信の方法を検討していただければ。

伊場部会長～ ほかにございませんか。無いようなので4. その他について事務局からお願いします。

4. その他

事 務 局～ 本日は第3期まちづくり計画の実績について専門部会を開催させていただきましたが、次回は11月上旬に第4期まちづくり計画について、新年度予算に向けた専門部会を開催したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

伊場部会長～ 11月上旬に専門部会を開催するとのことですので、事前に送られてくる資料に目を通していただいてご参加いただければと思います。本日は大変お疲れさまでした。

20:50終了